

目標達成計画

作成日：平成 25年 8月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議は、定期的開催されているものの、地域に広く開かれているとは言いがたい。自治会や老人会、消防や警察関係等、地域の力を借りながら会議が執り行われ、そのネットワークを広げる必要がある。	会議を活性化し、さらに地域に密着したものとするために、会議の中で地域の方の興味を引く話題の提供を行っていく。広報活動を行い、少しずつ関係者の輪を広げていく。	運営推進会議の年次計画を立て、警察や消防の方を招いて防犯や防災の話をしていただいたり、ひいの郷の職員が講師となり、認知症についての話をするなど、地域の方が興味を引くような話題を用意する。回覧板に案内のビラをはさみ、周知することで、地域の参加者を増やしていく。	12ヶ月
2	37	避難訓練について、周囲の地域住民の参加がないため、有事の際に助けが得られるかどうか心もとない。地域の協力を得て避難訓練を実施したい。	ひいの郷で避難訓練が行われることを広く地域に知らせ、参加協力を依頼するようにする。	回覧板や地域の掲示板を利用させてもらい、地域に避難訓練への参加協力を呼びかける。	12ヶ月
3	8	職員は外部研修を活用して、権利擁護に関する学習をしているが、その情報を家族のもとに届けるところまでは行われていない。	家族会を利用し、成年後見制度など情報を提供していく。	家族会を利用して、権利擁護に関する資料を配布し、説明する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。